

自動車業界が注目する TTSのターボリビルト技術

ターボチャージャーをリビルトしてくれるターボテクノサービスが「人とくるまのテクノロジー展」に出展。その高い技術と完成度の高さは多くの来場者から注目を集めていた。

近年のドイツ車に搭載されるエンジンは直噴+ターボという組み合わせが主流。ターボテクノサービスはこのターボチャージャーのリビルトを手掛けている。同社はターボメーカーの正規代理店であるためギャレットやボルグワーナーなどのターボメーカーから内部部品が供給され、さらに独自の対策を加えた消耗パーツを用意するなど、この分野におけるスペシャリストなのである。

ドイツ車のターボチャージャーに



大型バスやトラックに搭載されるターボチャージャーのリビルトにおいても豊富な実績を持つターボテクノサービス。修理するために必要なテスターなどの設備も整っているから安心して任せられる。

おけるトラブルを調べてみると、エンジン不調となるケースがあり、まるごと交換となると費用は高くつく。クルマの大修修理と言えばATやエアコンなどが挙げられるが、クルマによつてはそれと同等の費用がかかるポイントになっているのだ。それだけにターボチャージャーにトラブルが起きると買い替えたほうがよいのでは？という思いが頭をよぎる。だが、ターボテクノサービスでは、純正の約半額で修理してくれる



自然吸気+直6が往年のBMWの代名詞となっていたが、現代のBMWは直噴ターボが主流。ブースには5シリーズ用のボルグワーナー製ターボチャージャーが展示されていた。TTS (ターボテクノサービス) ではディーラーからの依頼も多いという。技術や完成度において高い信頼を得ている証である。



メルセデス・ベンツのディーゼルエンジン用ターボチャージャー。近年ではディーゼル搭載モデルがラインナップされるようになり、トラブルによって在庫するケースが増えてきている。フォルクスワーゲンのリビルトにも対応。

のだから、乗り続けたいと思っている人にとっては嬉しいサービスだと言える。同社の工場にはドイツ車だけでなく、国産車、バス、トラックなど様々なターボチャージャーが送られてくる。とくに大型車両については修理実績が豊富で、多くの働くクルマたちを救っている。そのノウハウが普通乗用車にも生かされており、さらに前述したターボメーカーとの正規代理店契約により確実なリビルトを

実現しているのである。もっひとつ付け加えたいのが、ターボテクノサービスは単に現物修理をするところではなく、ターボメーカーと同等の設備、検査システム、工場環境を持つリビルトターボメーカーとしてのポジションを確立しているのだ。今回のイベントでも、そういった取り組みが多くの自動車関連企業から注目を集めていた。もちろん、クルマを大切にすべく多くのユーザーにとつても心強い存在となっている。

リビルトターボメーカーとしての ポジションを確立している

ターボテクノサービス

- 所在地
東京都大田区矢口3-28-1-309
- 電話
03-3758-3381
- URL
<http://www.e-tts.com/>

編集部が気になるアレコレをピックアップ!